

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市与野体育館					
(2)施設概要	①所在地　さいたま市中央区下落合5-8-10 ②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。 ③施設の概要 昭和41年7月15日開館　敷地面積　4,672.97㎡　建物面積　2,904㎡ 競技場、第一和室、第二和室、第一集会室、第二集会室　他					
(3)指定管理者	さいたまスポーツのまち創造共同体					
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和5年4月1日～令和9年3月31日 ②指定管理料 令和5年度:20,871千円、令和6年度:20,872千円、令和7年度:22,123千円					
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況(括弧内は前年度の数値) 【利用件数】　6,254件　(6,145件) 【利用人数】211,478人(204,314人) 【利用率】競技場: 98.5%(98.4%)、第1和室: 63.5%(58.1%)、第2和室: 26.6%(32.3%)、第1集会室: 88.3%(85.7%)、第2集会室:88.6%(86.1%) ◇業務実施状況 ・利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) ・公共施設予約システムによる貸出し管理 ・事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など) ②維持管理業務の状況 ・施設清掃業務(日常清掃:毎日、定期清掃:年2回) ・消防設備保守点検業務　年2回 ・植木剪定業務　年2回 ・家用電気工作物保守管理業務　年6回 ・事業系一般廃棄物収集運搬処理業務　週2回 ・機械整備業務　毎日 ・害虫駆除業務　年2回 ・給排水設備清掃業務　年1回 ・フロン排出抑制法点検　3年に1回　等 ③その他(自主事業等) スポーツ教室(太極拳、卓球教室、ピラティス、フラダンス、ヨガ、ZUMBA、エアロビクス、バレトン、ストライクボクシング、レスミルズボディコンバット、エアロ&サーキット、親子でダンス、HIPHOP、空手教室、体育教室、クラシックバレエ等)の開催					
(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	6,007千円	5,673千円	人件費	21,027千円	21,785千円
	指定管理料	22,123千円	20,872千円	事務費	7,964千円	7,808千円
				施設管理費	11,026千円	11,777千円
	【自主事業】					
	収入	37,831千円	35,778千円	支出	20,103千円	19,263千円
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	投書箱を常時設置し利用者からの意見・要望等へ対応した。 利用者アンケートを令和7年10月15日から令和7年11月14日まで実施し、要望を伺い教室編成や運営改善に活用した。 利用者アンケートの「施設の清潔度」評価では、優、良の評価が昨年数値39%から50%以上に評価が上がった。共有部分の清掃頻度を上げたことと清掃マニュアルの更新をしたことで、共通認識を持って取り組むことができ、改善に繋げることができた。 また館内が暑すぎるとのご意見に対しては、競技場の、民家側の窓とドアを5月から10月末まで開けさせていただく依頼をした。その結果風通しが良くなった。また全受付スタッフに対して、熱中症対策の研修を実施し、必要な知識を共有した結果熱中症による事故なく運営することができた。					
(8)その他	・施設の危険な場所を改善し、安全な状態を確保した。					

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
施設の安全快適化を図り、利用者満足度の向上に努める。	階段、床面タイルの一部修理を、年に3回実施し、安全性向上を図った。 受付従業員の普通救命講習取得を義務付けるだけでなく、出勤時、心肺蘇生法訓練を実施することにより、従業員の安全意識を向上させた。 利用者の安全確保の為に、施設の巡回時には積極的にお声がけ、挨拶をするよう努めた。 施設屋内外の安全点検を毎日実施し、故障箇所はすぐに修繕した。 また、中長期での修繕が必要である場合は、修繕計画表に記載し計画的に修繕した。
利用者サービス向上を図り、スポーツのしやすい環境づくりに努める。	・スポーツDAYを企画し、アンケートなどで要望が多かった卓球大会を開催し、(32チーム139名の選手が参加)与野体育館で市民がスポーツに親しむ機会を提供した結果、多くの方にご参加いただきスポーツに親しんでいたことができた。 ・区民祭りでは、3種類の体力測定とミニゲームを開催し、子供から大人の方に向けて、スポーツに親しむ機会を提供し150名の方にご参加いただいた。 ・利用者から要望が多かった、ダンス発表会を企画し、年に2回埼玉県内の会場にて、日頃の成果を披露する機会を作り、技術のレベルアップ、達成感、満足度の向上に繋げることができた。 ・利用者からの要望が多かった、ビクブル体験を開催し、スポーツを楽しむ機会を作った。 ・与野体育館の正面入口に、季節ごとの飾りつけと無料イベントを毎月行い、スポーツ以外にも楽しめる場所や空間を作り、体育館に親しみをもってもらえる環境づくりを行った。
スポーツの情報を提供することで地域とのネットワークを構築し、スポーツを身近に感じられるように努める。	・市報にて、スポーツ教室案内を掲載し、新規利用者獲得に努めた。 ・構成団体が発行する機関誌に、施設案内や自主事業情報を掲載し、市民への体育館利用促進を図った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】 ・空き施設の有効活用としてマシントレーニングルームの利用や、稼働が低かった和室でのイベントなどを開催し、利用者数向上、新規利用者獲得に繋がった。 ・年1回のアンケートや窓口での意見要望の聞き取りなど行い、意見の収集に努め、運営に役立てることができた。 ・安全点検を毎日実施し、早期に危険な場所の発見・対策を行い利用者が安全に利用できるように努めた。 ・危険な場所は、改善して安全な状態にし、施設運営管理を行った。 ・ヒヤリハット集を従業員で共有し、安全に関する注意力向上に努めた。 ・熱中症対策として、館内に遮光カバーを設置することや、利用団体にに対し熱中症対策の案内チラシを手渡しするなど、安全に配慮してスポーツを行うよう周知した。 また、受付従業員に熱中症の理解度を高めるための研修を実施し、従業員の安全意識を向上させた。 ・施設利用団体に向けて、参加者募集に繋がるポスター掲示いただくよう積極的に案内をして、新規の方が利用しやすくなる様に工夫した。 ・スポーツ教室の充実を図り、子供から大人まで幅広い年代がスポーツに触れ合えるよう努めた。 ・与野体育館主催イベントを1年間に65回開催し、初めての方でも参加しやすい環境を作り、スポーツに触れ合えるよう努めた。 【経費の削減】 ・利用していない場所の照明をこまめに消灯し、光熱費の削減に努めた。 - また、各エアコンに目安温度を掲示し、利用者へ協力を促した。 【適正な管理運営の確保】 ・協定書に従って業務を適切に遂行した。 ・災害発生時、事故対応時、緊急対応時の各マニュアルを完備し、迅速な安全管理体制の確保した。 ・受付従業員は普通救命講習を取得し、出勤時には毎回、心肺蘇生法訓練を実施した。 ・危機管理体制として、緊急時の対応体制を見直し、変更、再確認した。 ・緊急事態の発生を予防する為の日常的な備え、対策として、従業員でのヒヤリハット集の共有を行い安全に関する注意力向上に努めた。 ・情報セキュリティ体制として連絡体制の見直し再確認した。 ・個人情報保護管理確認を3ヶ月に1回、自店舗で定期的に点検し安全な体制の確保をした。また年に1回本社の監査を行い、個人情報保護管理確認を実施した。
--

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B) ※A～D 1 項目別評価 【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】 ・主催イベントを65回と、多数開催することで市民のスポーツ機会の創出に努めた。 【経費の削減】 ・こまめな節電努力により電気料金削減に努めた。 【適正な管理運営の確保】 ・個人情報の観点では定期的な確認や監査を行い適正な管理に努めた。またマニュアルの整備を行うことで災害発生時等に迅速に対応できる準備を行っていた。 2 総合評価 ・受付職員に熱中症予防研修を受講させることや、イベント開催を多数行うことでスポーツ・レクリエーションの振興に寄与した。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上 ・利用者アンケートを踏まえた利用者の満足度の向上 ・危機管理体制の再確認 ・情報セキュリティ体制の再確認
